

重大事故・準ずる事故事例（平成28年度）

	日時・場所	受傷者・病名	事故状況	事故後措置
1	4月25日 午後4時40分頃 宮城県高校道場	高校3年生 第4、第5頸椎骨折 脱臼骨折 柔道歴 13年	校内における練習試合中受傷 双方右組み、試合開始後2分くらい、受傷者が袖釣込腰をかけた。相手も踏ん張り、受傷者は右側面から相手と一緒に畳に倒れ込み受傷した。	緊急搬送された。入院当初は会話もできたが、4日目に高熱が出て、意識がなくなり、5月10日死亡した。
2	5月31日 午後6時20分頃 群馬県中学道場	中学3年生 急性硬膜下血腫 柔道歴2年2ヶ月	約束稽古中受傷 大内刈から大外刈への連続技への約束稽古中、投げられ、頭を打ち受傷した。 受傷者48kg、相手117kgであった。	緊急搬送し、緊急手術を受けた。9月23日現在、握手をしようと言えば手を出す。足を上げてと言えば足を上げる。
3	6月25日 午後・時・分頃 愛知県柔道場	社会人（45歳） 柔道歴20年 急性硬膜下血腫	道場における稽古中受傷（警察調査） 柔道クラブにおける練習中、頭を打ち受傷した。 更衣室で「実は頭を打ち気分が悪い」と供述している。	更衣室で気分が悪くなり、1階ソファで休み、トイレで倒れた。緊急搬送され7月5日死亡した。
4	8月7日 午前10時40分頃 栃木県中学道場	中学1年生 柔道歴4ヶ月 外傷性くも膜下出血	約束稽古中受傷 受傷者は、3年生と組み、3年生が1年生に教える形で大外刈を実施した。その際に背中から落ち、受身を取り、その勢いで後頭部を打ち受傷した。	緊急搬送された。 8月16日意識が回復した。 9月13日塩原温泉病院に転院、自立歩行でバランスとる、自転車ペダルをこぐ、折紙する訓練をしている。
5	8月19日 午後8時30分 青森県柔道場	中学1年生（女） 柔道歴4ヶ月 急性硬膜下血腫	乱取中受傷 受傷者は、小6男と乱取り中、相手が小内刈を掛け、尻餅をつき、背中、後頭部と畳についた。その後、頭が痛い、座り込み、意識が混濁した。 受傷者は、7月下旬に頭痛がし、8月4日病院へ行くが、専門医が不在で診察を受けられなかった。その後、痛みが消え、練習を再開した。	緊急手術が行われ成功した。 医師からすでに脳の損傷があったのではとの説明があった。 9月12日現在、意識あり、会話もできる。歩行できる。食事一人でもできる。